

2022年度

問・解

文学部日本文学科 2・3年次（転籍・転部・転科・編入）試験用紙

試験科目（論文）

受験番号	氏名	採点員
番		

【二】 以下の各問いに答えなさい。

問1 日本文学・日本語の研究をする上で、あなたが大切にしようと考えている「視点」は何か。作品・著者・事象・理論・学説などを挙げながら、具体的に述べなさい。

【採点欄】

問2 日本文学・日本語の研究をする上で、インターネットはどのように活用すべきか。作品・著者・事象・理論・学説などを挙げながら、具体的に述べなさい。

【採点欄】

2022年度

(問・解)

文学部日本文学科 2・3年次(転籍・転部・転科・編入) 試験用紙

試験科目(論文)

受験番号	ふりがな	氏名
番		

【二】 以下の作品・作家・事項について、文学事典や日本語学事典の二項目を執筆するつもりで、必要十分な解説文を書きなさい。

問1 『徒然草』

【採点欄】

問2 志賀直哉

【採点欄】

問3 隠喻と直喻

【採点欄】

2022年度

問・解

文学部日本文学科 2・3年次 (転籍・転部・転科・編入) 試験用紙

試験科目 (論文)

受験番号	番
ふりがな	
氏名	

「三」 次の文章は、懈怠者 (なまけもの) ・如泥人 (だらしない人) と評されているが、能書家として高名であった大式 (藤原佐理) の逸話である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

御心ばへぞ、懈怠者、少しは如泥人とも聞こえつべくおはせし。故中関白殿、東三条つくらせ給ひて、御障子に歌絵ども書かせ給ひし色紙形を、この大式に書かせまし給ひけるを、^Aいたく人ざわがしからぬほどに、参りて書かれなばよかりぬべかりけるを、関白殿わたらせ給ひ、上達部・殿上人など、さるべき人々参り集ひて後に、日高く待たれ奉りて参り給ひければ、^B少しこちなく思し召さるれど、さりとしてあるべきことならねば、書きてまかで給ふに、女装束かづけさせ給ふを、さらでもありぬべく思さるれど、捨つべきことならねば、そこらの人の中をわけ出でられけるなむ、なほ懈怠の失錯なりける。「のどかなる今朝、とくもうち参りて書かれなましかば、かからましやは」とぞ、皆人も思ひ、みづからも思したりける。「むげのその道、なべての下臈などにこそ、かやうなることはせさせたまはめ」と、殿をも誘り申す人々ありけり。

(「大鏡」より)

- 注
- * 中関白殿 …… 藤原道隆。
 - * 東三条 …… 道隆の屋敷。
 - * 歌絵 …… 和歌の情趣を表した絵画。
 - * 色紙形 …… 屏風や障子に色紙を貼ったり、その形を描いたもの。そこに詩や和歌を書く。
 - * 関白殿 …… 道隆。
 - * 女装束 …… 女性用の衣装。

2022年度

問・解

文学部日本文学科 2・3年次（転籍・転部・転科・編入）試験用紙

試験科目（論文）

受験番号	ふりがな	氏名
番		

問1 傍線部A「いたく人さわがしからぬほどに」を現代語訳しなさい。

【採点欄】

問2 傍線部B「少しこちなく思し召さるれど」を現代語訳しなさい。

【採点欄】

問3 傍線部C「とくもうち参りて書かれなましかば、かからましやは」を「かから」の内容が具体的になるように現代語訳しなさい。

【採点欄】

問4 傍線部D「殿をも誇り申す人々ありけり」とあるが、「人々」が「殿」を誇る理由を具体的に説明しなさい。

【採点欄】